



いちはら粘菌の会

第40号 令和4年
2022年 8月 1日発行



古代蓮 7/7



なんじゃもんじゃの木



弘法大師の命名とされる
民話が紹介されています。

猛暑と大雨は気候変動によるものでしょうか。例年、この季節粘菌の発生が多々観られ、わくわく出かけた森が、どうしたことでしょう？ 彼らの姿が観られません。森は天井の樹々が一段と葉を広げ、<差し込む光>や<通り抜ける風>が無くなり、暗い森になってきたのです。 燦爛と降り注ぐ太陽や、通り抜ける風を求めて、変身をし、安住の地へ移ったようです。粘菌の生き延びる知恵があるのですね。



釋蔵院 7月観察会

1300年の歴史を持ち、弘法大師空海により開祖。上総国を代表する寺院です。粘菌の会も応援を頂き、粘菌・変形菌が市内で最も多く発見されている境内です。現在63世 文聖住職です。



「釋蔵院・能満地区の歴史」について。会員のEさんが資料を作製し、お話をしてくれました。この地で生まれ、育ったEさんです。

釋蔵院の大きな贈り物

7月3日(日)粘菌観察会 能満地区9名参加
☆本堂にて、昭和の実際から古代へと釋蔵院の歴史について学びました。

☆境内での、これほどの群生の粘菌・変形菌の発見は初めてです！ まるで私達の観察会を歓迎してくれているようでした。

何とありがたいことでしょう!!



オオムラサキホコリ 群生を発見 7/3 12:54



7/3 観察会でオオムラサキホコリの子実体を発見(赤○)
7/10 鮮やかな黄色のススホコリの子実体を発見(黄○)
7/12 両種とも指で触れると、ふぁっとホコリのように胞子が舞い上がりました。その隣にも新しいススホコリの姿があります。



7/16 新聞記事より
—イタリアの都市発展
粘菌の「賢さ」で検証—
香川大・北大などの研究チーム

行事予定

8月7日(日) 粘菌観察会

「奈良の大仏」市原市奈良字大仏台、周辺
—粘菌の探し方— 大仏の歴史—

10時～11時45分

集合 10時 粘菌交流館前駐車場

※交流館より車で5分位の場所です。

☆林の中です。虫よけスプレー、服装等 ご注意ください。

☆コロナ感染等の状況によっては、中止もあります。

問い合わせください。

問い合わせ 080-5460-5775(中村)

090-2476-1361(石井)

☆行事等は変更になることも、あります。

☆粘菌交流館住所 市原市東国吉 495